

(様式第7号)

令和7年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市松尾寺駅前観光交流施設		
指定管理者	特定非営利活動法人駅舎と共にいつでも		
設置目的	歴史的な建造物を保存・活用し、ふれあいの場として提供することと、観光情報の発信拠点として、農村交流・世代間交流・学術交流を深め、地域活性化に繋げるため。		
選定方法	非公募	指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日
所管課	産業振興部商工・観光振興課		

2 利用状況等の推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	年度
利用者数(人)	12,486	17,693	20,836	20,717	
利用料金(円)	—	—	—	—	
指定管理料(円)	92,000	92,000	92,000	92,000	

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
施設の利用人数	5,000名	21,000名	20,717名	98.7%
施設を利用したイベント企画数	3件	5件	6件	120.0%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	—	人件費	0
指定管理料	92,000	維持管理費	430,241
事業収入	106,033	事業費	281,780
その他	538,560	その他	0
合計	736,593	合計	712,021
差額			24,572

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	○	21,000人の目標を概ね達成している。昨年同様に多くの事業を行ったほか、市内外のイベントへの出展、SNS等での広報を継続していることが施設の認知度に繋がっている。また、カフェ事業など利用者へのおもてなしの取り組みが市民のみならず市外からの利用増加に繋がっている。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	施設内に設置したプランターや日常の清掃によって利用者が気持ちよく過ごせる空間を提供している。イベント時には「日本遺産構成文化財」の掲示を実施するなど、日本遺産の構成文化財の周知に貢献している。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	住民やボランティア等と協力しながら草刈りや清掃などの保守管理を実施した。カフェ事業を通して観光案内を行う等来場者とコミュニケーションをとり、また駅利用者へのトイレ提供にも取り組まれておられる。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	◎	春・秋実施のボランティア清掃や生け花展、舞鶴高専と連携した音楽イベント等これまでのイベントの他に、今年度は和田中学校と連携したイベントを開催している。カフェ事業でも多くの方の利用があり、今後に繋がる効果的な事業となった。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	多くの事業やカフェ事業などの実施により、昨年とほぼ同数の利用者数となっている。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	利用者や来訪者に対し、常に親切丁寧な対応に努める姿勢や定期的なSNSの発信、駅舎でのイベントの定着がリピーター獲得に寄与している。

利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	◎	定期的なモニタリングを行い、利用者の意見把握に努めており、その要望に応えようとしている点で評価できる。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	トイレ利用者からの要望・苦情に対して迅速な対応を行っている。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	補助金を活用する等工夫して経費削減に努められた。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	事業のスリム化を継続するなど経費削減に努めている点は評価できる。
収入増加のための取組が行われたか	◎	管理施設や市内外でのイベントなどでの寄付金募集や物品販売を行うなど収入増加の工夫が見られ、委託事業者との協議により協賛金を増額できた。 今後もさらに収入増加するよう取り組まれない。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	最低限の配置は行われた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	適切に行われた。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われた。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われた。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に行われた。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	適切に行われた。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われた。
(5) その他コメント		
サービス向上	観光パンフレットの配架・ポスターの掲示等に加え、イベントでのPR活動、継続的なSNS等による広報に取り組まれたことが駅舎の知名度アップに寄与されている。定期的な清掃活動や花壇整備、冬季の除雪作業等日頃の活動により利用者・来訪者が気持ちよく利用できる場空間となっている。また、スタンプ台の設置は来訪者の満足度に、冬季のイルミネーション等の恒例イベントを開催することがリピーター獲得に繋がっている。そのほかボランティア参加者には保険加入するなど、駅舎利用者に安全に楽しくご利用いただける取組を行っている点が評価できる。	
経費削減	物価高騰により水道光熱費の負担が大きくなる中で昨年度に引き続き節電に努める等工夫をしている。駅舎関連グッズ販売や協賛金の増額などの寄付金収入の確保に尽力された結果、今年度収支の黒字に繋がっているため、双方合わせた取り組みを今後も継続されたい。	
施設の維持・管理	観光客へのおもてなしの向上へ向けた取組や、地域コミュニティの活性化の拠点としての活動を、NPOのみならず地元住民や舞鶴高専、これまでになかった中学校との連携事業を実施するなどの連携の取り組みは、目に見える以上の非常に大きな収穫があったものと思われる。 次年度以降も清掃活動等きれいな施設の維持管理に努められる他、何度も駅舎に足を運びたくなるような「おもてなし」の事業展開に努められたい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	4.00点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	- 適切な運営管理が行われている。 - 指定管理者および地元の努力が大変評価できる。 - 設置目的を実現するために関係者全員で関わり成果を上げており素晴らしい。 - NPO法人が自主的に管理している模範的施設と言える。 - SNSでの発信をさらに頑張っていただきたい。 - おもてなし施設であるトイレのバリアフリー化等の改修をしてみてもどうか。 - 今後も地域に根ざした団体による運営を継続するには上手に世代交代をする必要がある。	

《参考》 過年度の評価点

令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度	平均
4.00点	4.60点	4.50点		